

大麦赤かび病の1回目の防除適期は 出穂5日後頃です。遅れずに防除しましょう!!

赤かび病による被害粒が10,000粒中に5粒以上混入すると出荷できなくなります。赤かび病はムギの開花期頃が最も感染しやすく、この頃に雨が続き、気温が高いと多発します。圃場を巡回し、ムギの生育状況を十分に確認しながら適期に薬剤防除を行いましょう。

1 防除時期

●出穂5日後頃とその7～10日後の2回

※1回目は開花始め（出穂5日後頃）が防除適期です。

●赤かび病菌感染後の薬剤散布は防除効果が劣ります。下表の薬剤を使用して、予防防除を実施して下さい。

●液剤のほうが粉剤より効果が高いです。液剤の散布量は10a当たり100L必要です。粉剤は穂が濡れている早朝に散布すると効果が高くなります。

●圃場をこまめに巡回しムギの出穂や開花状況を確認し、適期防除に努めましょう。



2 防除薬剤

薬剤名	登録作物	希釈倍数	使用量	使用時期	使用回数	散布方法
トップジンM粉剤DL	麦類(小麦を除く)		4kg/10a	収穫14日前	3回以内 (出穂期以降は1回以内)	散布
トップジンM水和剤		1000～1500倍	60～150L/10a	収穫30日前		散布
トップジンMソル		8倍	0.8L/10a	収穫21日前		無人ヘリコプターによる散布
トリフミン水和剤	麦類	1000～2000倍	60～150L/10a	収穫14日前	3回以内	散布
ストロビーフロアブル	麦類(小麦を除く)	2000～3000倍	60～150L/10a	収穫14日前	3回以内	散布
テルト乳剤25	大麦	1000～2000倍	60～150L/10a	収穫21日前	1回以内	散布
		8倍	800ml/10a	収穫21日前	1回以内	無人ヘリコプターによる散布
ワークアップ粉剤DL	麦類		3kg/10a	収穫7日前	3回以内	散布
ワークアップフロアブル	大麦	10～16倍	0.8L/10a	収穫7日前	3回以内	無人ヘリコプターによる散布
シルバキュアフロアブル	大麦	2000倍	60～150L/10a	収穫14日前	2回以内	散布
		16倍	0.8L/10a	収穫14日前	2回以内	無人ヘリコプターによる散布

☆最新の農薬登録情報(<http://www.acis.famic.go.jp/search/vt1lp301.jsp>)を確認して下さい。